

令和7年度 学力・体力向上プラン

学校名 中央区立中央小学校

1 課題

【4月】令和6年度学力向上プランの検証結果、学校評価の結果等によって明らかになった課題 【10月】令和7年度学習力サポートテスト、体力テストの結果等によって明らかになった課題	
児童・生徒の学力の課題	
国語	<p>【4月】 全国平均を上回っている。5学年で区の平均をわずかに下回ったが、4・6学年は区の平均を上回り、どの学年でも目標値から5ポイント以上下がった内容はない。目標値は達成しているが、前学年で習得した漢字の読み書きにおいて、知識・技能を高める必要がある。総合的に、活用と思考・判断・表現する力に課題がある。</p> <p>【10月】</p>
算数・数学	<p>【4月】 どの学年も全国・区平均を上回っている。高学年では、小数の計算と作図の内容で目標値を5ポイント下回り、学習内容の定着を図る必要がある。わり算、億と兆・がい数の表し方、作図、分数の計算、多角形と円の合同において、目標値は達成しているが、区平均より少し下回っているため、数と計算、図形の領域で知識・技能をより高める必要がある。</p> <p>【10月】</p>
社会	<p>【4月】 どの学年も全国・区平均を上回っている。「地図の記号の読み取り」「安全なくらし」「くらしを支える水」「工業」について興味・関心をもって学習に取り組む工夫を継続する必要がある。また、一般的に、知識・技能の定着と資料を読み取って思考・判断・表現する力を高める必要がある。</p> <p>【10月】</p>
理科	<p>【4月】 どの学年も全国平均を上回ったが、4学年でわずか区平均を下回った。5・6学年は昨年度より平均を上回った。「物のとけ方」「電流のはたらき」「けんび鏡の使い方」「月と星」の内容について、区平均を少し下回ったため、学習内容の定着を図る必要がある。また、予測や推測をする際に説明する力を高める必要がある。</p> <p>【10月】</p>
英語	<p>【4月】 どの学年も意欲的に取り組んでいる。特に、中・高学年ではコミュニケーションの楽しさとアルファベットを読んだり書いたりする知識の習得とのバランスをとりながら、国際理解教育と関連付けて主体的に学習に取り組むことができるようにする必要がある。</p> <p>【10月】</p>
体力向上	<p>【4月】 体育全般に意欲的に取り組み、マイスクールスポーツの全校一輪車活動にも意欲的に取り組んでいる。体力テストの結果から、低学年で握力、中学年で柔軟性、高学年で持久力を高めていくことが課題となった。中央小学校体育年間指導計画を基に指導補助員との連携をとりながら、よりよい取組を継続させていくことが必要である。</p> <p>【10月】</p>

2 年度末までの目標及び指標、具体的な取組

	年度末までの目標及び指標	具体的な取組
国語	<p>【4月】 指定された長さで文章を書いたり、自分の考え等を明確に書いたり、調べたことを文章にまとめたりする活動を充実させ、「書く」領域で昨年度の平均を上回るようにする。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物語や説明文の内容等を指定された文字数で要約する活動を繰り返し行っていく。
算数・数学	<p>【4月】 学習意欲と学習内容の定着を維持できるようにする。「数と計算」「図形」の領域で、知識・技能の定着を図り、昨年度の平均を上回るようにする。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本と知識・技能の定着のための繰り返し学習をより充実させる。 ・図など使いながら、根拠について式や自分の考えを説明する機会を増やす。
社会	<p>【4月】 「市のようす」「安全なくらし」「生活環境を支える活動」「自然災害からくらしを守る」「工業生産」の領域について特に、主体的に取り組めるよう丁寧に学習を進め、内容の定着を図る。目標値を達成できるようにする。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「市のようす」「安全なくらし」「生活環境を支える活動」「自然災害からくらしを守る」「工業生産」の領域では特に導入を工夫して、主体的な学習を充実させる。 ・資料を読み取って自分なりの考えをまとめたり、推測したり、説明したりする活動を充実させる。
理科	<p>【4月】 課題意識をもち、関心・意欲を高める導入の工夫を行い、「物のとけ方」「電流のはたらき」「けんぴ鏡の使い方」「月と星」の内容について目標値を達成できるようにする。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方を学校全体で共有し、問題→予測→実験方法→実験→結果→考察の流れで行う。 ・推測・考察・説明する活動を充実させる。
英語	<p>【4月】 コミュニケーションの楽しさに加えて、アルファベットの理解について昨年度より上回るようにする。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書の発音やチャンツなどを活用して基礎・基本を身に付けられるようにする。 ・発音した単語を書く学習も充実させる。
体力向上	<p>【4月】 柔軟性や持久力、握力、俊敏性について、昨年度より上回るようにする。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業始めにストレッチや持久力、固定遊具を使った様々な遊びを取り入れ、単元の運動の基礎となる動きを丁寧に指導する。

個別最適な学びと協働的な学びの充実

取組	
	<ul style="list-style-type: none"> ・協働的な学びのために、個人の意見や思いと向き合う時間の確保を大切にする。個人差を認め合い、柔軟に考えを広げることができるようにする。 ・レディネステストの結果や本人の希望を基に習熟度別指導を充実させたり、学び方を選択できるようにしたりして、個に応じた指導の充実を図る。

探究的な学びの充実

取組	
	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入を工夫し、ゴールを見据えるようにする。振り返りの時間を確保し、具体的な課題と解決策を見だし、個人・グループ・全体で共有できるようにする。 ・課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現のサイクルで授業を行う。 ・情報教育と関連付け、情報の活用法や表現方法などについて丁寧に指導する。

読解力の育成

取組	
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用を時間割に位置付け、読書活動を継続的に行う。週3日、昼休み後に読書タイムをとる。読書キャンペーンを年2回実施する。学期に一度、本の森ちゅうおう出前読み聞かせを実施する。 ・読み取った内容を自分の言葉で表現する活動を継続する。